

## 【研究構想図】

### 【教育目標】

考える子 心豊かな子 元気な子

### 【児童の実態】

- ・これまでの研究の成果により、問題に対して自分たちでめあてを立てたり、学んだことを整理してまとめたりすることができる。
- ・電子書籍も含め、意欲的に読書に取り組んでいる様子が多く見られる。
- ・自分の体験や、考えなどと比べながら、友達と交流することができる児童が少ない。

### 【目指す児童像】

読むこと 大好き 桃二の子

#### 〈低学年〉

文章の内容と自分の体験を結び付けて、感じたことや分かったことを友達と共有する児童。

「自分だったら・・・」  
「なるほど！」  
「おもしろいなあ。」

#### 〈中学年〉

文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、友達と共有し一人ひとりの感じ方の違いに気づく児童。

「ここに書かれているよ。」  
「私とは違うね。」  
「そういう考えもあるんだ！」

#### 〈低学年〉

文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ友達と共有し、自分の考えを広げたり深めたりする児童。

「作者の伝えたいことって、こういうことだったんだな。」  
「あの言葉には、そういう意図も含まれているんだな。」  
「ぼくの読み取りを、より多くの人に共感してほしいな。」

### 【研究主題】

互いに関わり合い、  
自らの読みを深める児童の育成  
～個別最適な学びと協働的な学びの一体化を図る国語科の授業の工夫～

### 【研究仮説】

読む場面や表現方法などを自ら選択し、感じたことや考えたことを、互いに認め合ったり、違いに気付いたりすることで、自分の考えを広げ、意欲的に読むことができる児童が育成できるであろう。

### 【研究の内容】 今年度は、文学的文章を扱う。

#### 〈取組①〉

個別最適な学び  
学習の中で、児童が選択をできる場面を設ける。  
《例》  
・課題設定  
・読みの場面  
・読む視点  
・表現方法

など

#### 〈取組②〉

協働的な学び  
文章を読んで感じたことや考えたことを互いに共有する場を設ける。  
《例》  
・同意見の小グループで交流する  
・友だちが何を学んでいるのか可視化し、交流相手を選択する

など

考えをもつ

伝え合う

知る  
深める・広げる

### 【研究の方法】

#### 【研究計画】

- ・分科会は、低・中・高学年分科会とする。専科は副担任をしている分科会に所属する。養護は高学年分科会に所属する。特別支援教室巡回教員は、担当する児童の学年に所属する。
- ・各学年1回ずつ、研究授業を行なう。（年間で合計6回）
- ・研究授業には、講師の先生に来ていただき、指導講評を受ける。

#### 【検証方法】

- ・6月中に児童アンケートを実施する。実施内容は、国語や読書、個別最適な学び、協働的な学びに関するものとする。
- ・6月実施の児童アンケートと同様のものを11月に実施する。2回のアンケートの結果の変容、児童の授業の様子やノートの記述などを基に、研究成果の検証を行う。